



Geoff Merrill (ジェフ・メリル)

[オーナー：ジェフ・メリル]

[ワインメーカー：ジェフ・メリル & スコット・ヘイドリツヒ]

アデレードでワイン造りを学んだジェフ・メリルは海外での経験を積み、1975年にシャトーレイネラのワインメーカーとして帰国しました。1982年、シャトーレイネラがトーマス・ハーディー社に購入された後もワインコンサルタントとして関わり、カルトワインから高品質のテーブルワインまで生産する幅広いワイナリーに育てた後、1985年にイギリス人により1897年設立された歴史あるワイナリーを購入して自らのブランドを立ち上げました。

「土地、品種の特徴、ヴィンテージを大切に、過度な人の介入をしない事」をモットーとし、樽や出荷前のボトル内での“熟成”を重要視しています。また、2005年にはオーストラリアで最も権威ある“ジミー・ワトソン賞”を受賞し、その地位をゆるぎないものとしています。



Pimpala Road Shiraz 2022 (ピンパラロード シラズ)

産地	：	南オーストラリア州
味わいタイプ	：	ミディアムボディ
ブドウ品種	：	シラズ 100%
樽熟成	：	12ヶ月(フレンチオーク 古樽/小樽)
アルコール度数	：	14.5 %
参考小売価格	：	¥2,500 (税別)

【ワインの特徴】

南オーストラリア州の厳選された畑で栽培する高品質なシラズを使用。醸造所に運ばれた果実は、除梗破碎されタンクにて発酵。発酵中は果皮からの色素やタンニンを得る為に、ポンプでワインを循環させました。

2022年ヴィンテージと前年ヴィンテージの間には、重要な気候的類似点が見られました。これは、2021年ヴィンテージが既に高い評価を得ていることを考えると、良い兆候と言えるでしょう。冷夏のおかげでブドウの状態は良好で、穏やかな成熟条件のおかげでワイン醸造が容易になりました。オーストラリアの他の地域ではラニーニャの影響で雨の多い年でしたが、マクラーレン・バールとクナワラのブドウ園では例年を下回る降雨量となりました。シーズンは冬と早春に例年を上回る雨で始まりましたが、夏から秋にかけて乾燥した天候が続き、全体的に降雨量が少なくなりました。総じて、2022年は品質において上位にランク付けできるでしょう。赤ワインは濃厚で豊か、そしてバランスの取れた風味と色をしています。白ワインは美しいアロマと自然な酸味が特徴です。

【味わい】

色は若々しいダークチェリーの色合いを持つ深い赤色です。鮮やかなラズベリーとプラムのフルーツ、そしてほのかに香ばしいオークの香りとおハーブとスパイスが魅力的にミックスされた香りです。口当たりは鮮やかな赤いベリーフルーツの風味が豊かで、きめ細やかな舌触りと長く続く味わいが特徴となっています。バーベキューソーセージやラムチョップ、ピザ、ポロネーゼパスタ、ラムイロス、ビーフケバブと一緒に楽しみください。